

# 小学校算数 第4・5・6学年

| 各学年共通した課題 |         | 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりすること |        |
|-----------|---------|---|--------|
| 学年        | 設問      | 設問のねらいと問題の概要                              | 正答率(%) |
| 4         | 大問 11 ㉔ | ○ ひし形であることの理由を説明することについての思考力、判断力、表現力      | 26.6   |
| 5         | 大問 16 ㉔ | ○ 四角形の4つの角の大きさの和についての知識及び技能               | 62.5   |
| 6         | 大問 12 ㉒ | ○ 三角柱とその展開図についての知識及び技能                    | 25.2   |

— 復習のポイント — 小学校第4・5・6学年のみなさんへ

図形の学習では、実際に図形をかいてみたり、作ってみたりしながら、図形の見方を豊かにしていくことが大切です。定規やコンパス、分度器を使って正確に図形をかく、実際に立体の展開図をかいたり、組み立てたりするなどの経験を積み重ねていきましょう。

**第4学年の問題から**

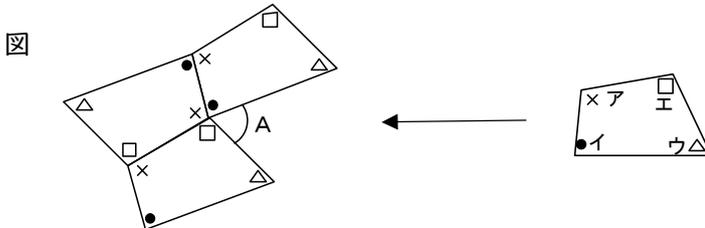
【問題】 下の図1のように、半径が等しい円を2つかき、2つの円が交わった点と円の中心を直線で結び四角形をかきます。その理由を説明しなさい。(図1は省略)

【ポイント】 「ひし形」がどのような四角形かを教科書に示されているとおりに答えられるようにすること 「ひし形」…辺の長さがすべて等しい四角形

※ 第4学年までに、ひし形以外にも長方形、正方形、直角三角形、二等辺三角形、正三角形、台形、平行四辺形などの図形について学習しています。どのような図形かをいえるようにすることは算数学習の基本なので、まず、教科書に示されているとおりに答えられるように整理しましょう。

**第5学年の問題から**

【問題の概略】 下の図は、こうじさんが合同な四角形をしきつめたものです。角Aと対応する角をアからエまでの中から1つ選んで、記号で答えなさい。



【ポイント】 1つの点のまわりの角の大きさは  $360^\circ$  であること  
四角形の4つの角の大きさの和は  $360^\circ$  であること

**第6学年の問題から ※内容は、第5学年**

【問題】 あきとさんは、下のような方眼紙に三角柱の展開図をかきました。この三角柱の高さを求めなさい。(問題の必要部分を抜粋)

【ポイント】 「角柱」がどのような立体かいえるようにすること  
「角柱」…上下の2つの面が平行で、合同な多角形になっている立体

展開図に2つの直角三角形があり、合同なので、これらが底面になります。その他の3つの長方形は側面になり、長方形のたての長さが三角柱の高さになります。(高さは2cm)

